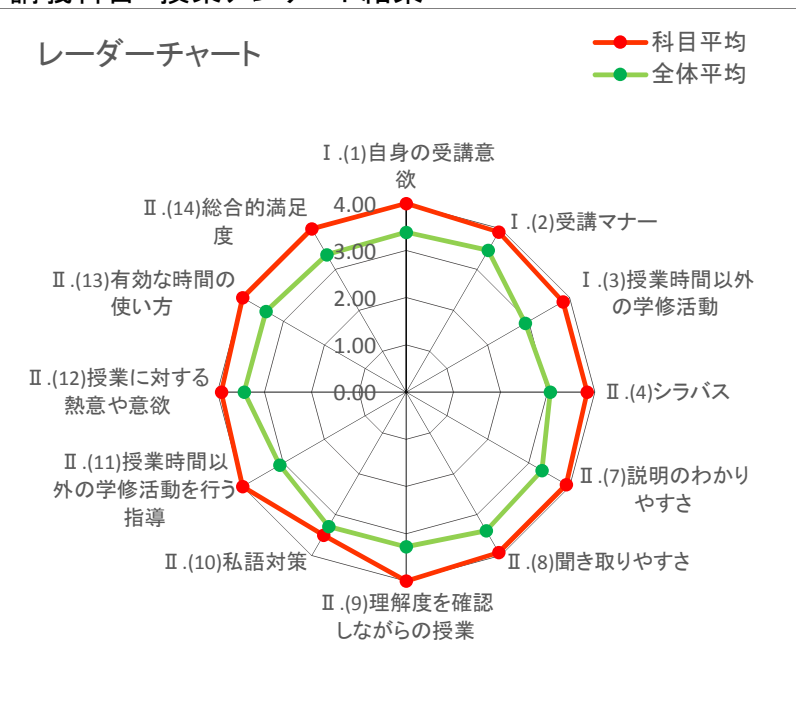
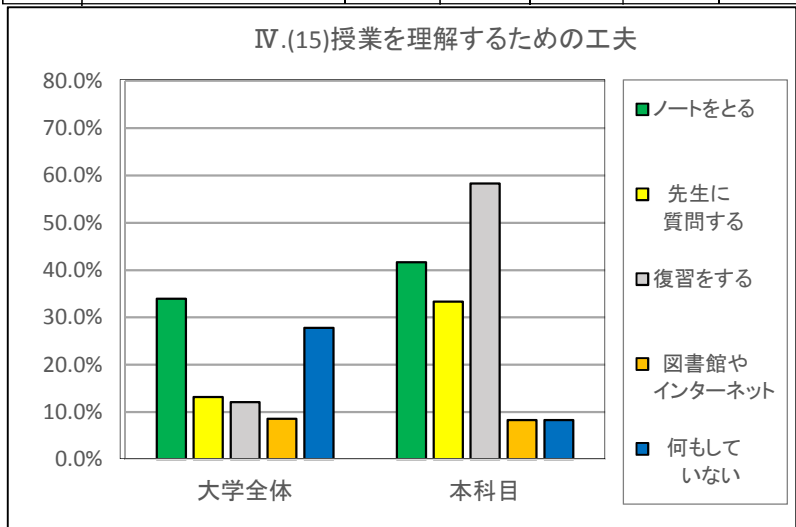


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	41.7%	33.3%	58.3%	8.3%	8.3%



	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	4.00	3.39
	I.(2)	3.92	3.47
	I.(3)	3.83	2.91
受講内容・方法	II.(4)	3.83	3.05
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.92	3.32
	II.(8)	3.92	3.39
	II.(9)	4.00	3.27
	II.(10)	3.50	3.28
	II.(11)	4.00	3.09
	II.(12)	3.92	3.43
	II.(13)	4.00	3.43
満足度	II.(14)	4.00	3.36

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.92	3.26
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.89	3.28
II.(4)~(13)		
総合的満足度	4.00	3.36
III.(14)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度 後期
時間割番号	42310
科目名	日本語特講(文法・聴解)Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

授業においておよそ計画通りに進捗をはかった。随時、学生の要求に応え日本語能力試験1級の過去問題や試験対応問題を練習したため、良好な成績を得る。授業時間外においてオンラインで随時質問などを受けて指導し、授業内容を再確認した。また、学生の進捗や把握度を確認し、授業の内容と難易度を随時微調整した。その他、話題の記事や社会に関する新聞内容なども紹介し、言葉の背景にある習慣、社会、文化など関連性のあるものの学習を心掛ける。特別聴講生は日本語を専攻しているため、日本人の視点と留学生の視点両方から授業内容を工夫した。

②授業の進め方について

聴解は留学生にとって最も不得意の部分である。また、例年より学生の日本語レベルや学習意欲の低下が見られる。そのため、随時、テキストの調整が必要だった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

アンケート結果から学生が満足できたと伺える。講義において多々の問題もあったが、オンライン、または補講などを用いて、問題を乗り越えた。試験終了後の講義は、課題研究などの指導も行き、学生が必要の講義ができたと思う。